

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 中央紙器工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 神谷 兼弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 横井 敬嗣

TEL 052-400-2800

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,167	△11.1	897	37.1	931	34.2	458	10.8
21年3月期第3四半期	10,316	△2.4	654	△4.6	693	△6.3	414	△1.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	92.31	—
21年3月期第3四半期	83.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,740	6,775	77.5	1,363.13
21年3月期	8,287	6,342	76.5	1,276.13

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,775百万円 21年3月期 6,342百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
22年3月期	—	9.00	—		
22年3月期 (予想)				9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△7.5	1,000	43.9	1,070	37.5	550	△6.6	110.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	5,225,008株	21年3月期	5,225,008株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	254,534株	21年3月期	254,534株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	4,970,474株	21年3月期第3四半期	4,971,427株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ「定性的事項・財務諸表等」の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済は、米国経済の底打ちや中国・アジア経済の回復により世界同時不況の最悪時からは抜け出しつつありますが、雇用情勢の低迷や設備の過剰感は解消されておらず、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、第3四半期の後半には、デフレ懸念や為替相場の急激な変動等、景気の不透明感に拍車がかかりました。

このような状況のもとで、当社グループはパッケージの軽量化やコンパクト化等の梱包プロセス改善の提案をより強力に進め営業活動を積極的に展開するとともに、生産効率のアップ、工程ロスの削減や、輸送効率ならびに便数の見直しによる輸送改善など、トータルとしての原価低減、収益向上を目指すべく体質改善に積極的に取り組みました。

これらの結果、取扱品目別では、段ボール製品は売上高71億24百万円（前年同四半期比16.9%減）、売上総利益は17億61百万円（前年同四半期比11.2%減）、その他売上高は20億42百万円（前年同四半期比17.4%増）、売上総利益は5億68百万円（前年同四半期比83.9%増）となり、全体としては、売上高91億67百万円（前年同四半期比11.1%減）、売上総利益23億30百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益8億97百万円（前年同四半期比37.1%増）、経常利益9億31百万円（前年同四半期比34.2%増）、四半期純利益4億58百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

所在地別のセグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、主要販売先である自動車関連への販売が減少したものの、収益改善活動が実を結び、売上高79億36百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益11億33百万円（前年同四半期比40.6%増）となりました。

アジアは、主要販売先である電気・機械関連への販売が減少したことにより、売上高12億30百万円（前年同四半期比37.8%減）、営業利益29百万円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の連結財政状態につきましては、流動資産は、前期末に比べ6億76百万円増加し55億32百万円となりました。これは主に利益獲得により現金及び預金が4億55百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前期末に比べ2億24百万円減少し32億8百万円となりました。これは有形固定資産の減少1億45百万円等によるものです。

流動負債は、前期末に比べ77百万円増加し15億26百万円となりました。これは未払法人税等が62百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前期末に比べ57百万円減少し、4億38百万円となりました。これは退職給付引当金が26百万円、役員退職慰労引当金が22百万円減少したことによるものです。

純資産は、利益剰余金の増加3億69百万円、その他有価証券評価差額金の増加67百万円等により、前期末に比べ4億32百万円増加し、67億75百万円となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的事項）

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益8億12百万円を計上し、減価償却費2億29百万円、売上債権の増加2億38百万円、法人税等の支払い2億60百万円等により、当第3四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度に比べ4億55百万円増加し24億76百万円（前期末比22.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億44百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。これは主に、売上高は減少したものの収益改善活動等の効果により、税金等調整前四半期純利益8億12百万円を計上したこと、減価償却費2億29百万円及び売上債権の増加2億38百万円並びに法人税等の支払い2億60百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は95百万円（前年同四半期比74.5%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出99百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は89百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。これは主に配当金の支払額87百万円等によるものであります。

なお、当社グループの運転資金及び設備投資資金は、主として内部資金により充当し、必要に応じて借入による資金調達を実施することを基本方針としています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの設備投資資金については、内部資金により充当いたしました。

当社グループは、今後も営業活動により得られるキャッシュ・フローを基本に将来必要な運転資金及び設備投資資金を調達していく考えです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月28日に公表しました業績予想から変更はありません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
  
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,476,618	2,021,314
受取手形及び売掛金	2,785,816	2,550,671
商品及び製品	149,473	151,262
仕掛品	13,914	16,265
原材料及び貯蔵品	42,885	41,909
その他	64,049	74,731
貸倒引当金	△448	△629
流動資産合計	5,532,309	4,855,525
固定資産		
有形固定資産	2,254,233	2,399,679
無形固定資産		
その他	18,633	18,473
無形固定資産合計	18,633	18,473
投資その他の資産	935,286	1,014,264
固定資産合計	3,208,154	3,432,417
資産合計	8,740,463	8,287,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,005	976,404
未払法人税等	190,765	128,701
賞与引当金	49,423	97,703
役員賞与引当金	19,240	21,355
その他	288,091	225,147
流動負債合計	1,526,526	1,449,312
固定負債		
退職給付引当金	342,317	368,730
役員退職慰労引当金	93,900	116,700
その他	2,336	10,250
固定負債合計	438,553	495,680
負債合計	1,965,080	1,944,992

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	4,800,666	4,431,291
自己株式	△68,365	△68,365
株主資本合計	6,790,758	6,421,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126,420	58,833
為替換算調整勘定	△141,794	△137,264
評価・換算差額等合計	△15,374	△78,431
純資産合計	6,775,383	6,342,950
負債純資産合計	8,740,463	8,287,943

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	10,316,285	9,167,124
売上原価	8,023,500	6,836,659
売上総利益	2,292,785	2,330,464
販売費及び一般管理費	1,638,158	1,432,712
営業利益	654,627	897,752
営業外収益		
受取利息	3,563	700
受取配当金	16,325	9,329
仕入割引	19,114	15,217
その他	14,732	18,254
営業外収益合計	53,735	43,501
営業外費用		
支払利息	492	—
持分法による投資損失	2,051	4,248
為替差損	10,754	3,902
その他	1,176	1,802
営業外費用合計	14,474	9,953
経常利益	693,887	931,300
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	2,690
その他	—	180
特別利益合計	—	2,870
特別損失		
固定資産除却損	8,330	3,613
投資有価証券評価損	—	61,370
賃貸借契約解約損	—	56,217
その他	2,719	—
特別損失合計	11,049	121,201
税金等調整前四半期純利益	682,838	812,969
法人税、住民税及び事業税	231,609	318,233
法人税等調整額	36,938	35,891
法人税等合計	268,547	354,125
四半期純利益	414,290	458,844

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,838	812,969
減価償却費	213,512	229,885
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,883	819
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,424	△26,412
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,000	△22,800
受取利息及び受取配当金	△19,888	△10,030
支払利息	492	—
為替差損益 (△は益)	3,588	2,401
持分法による投資損益 (△は益)	2,051	4,248
固定資産除却損	8,330	3,613
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	61,370
賃貸借契約解約損	—	56,217
売上債権の増減額 (△は増加)	83,310	△238,982
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,833	3,113
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,268	5,655
その他	△64,251	10,528
小計	919,089	892,596
利息及び配当金の受取額	22,540	12,212
利息の支払額	△492	—
法人税等の支払額	△276,011	△260,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,126	644,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△327,391	△99,549
投資有価証券の取得による支出	△54,574	△1,111
貸付けによる支出	△6,800	△10,300
貸付金の回収による収入	10,117	10,281
その他	5,623	5,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373,024	△95,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△1,314
自己株式の取得による支出	△874	—
自己株式の売却による収入	424	—
配当金の支払額	△88,802	△87,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,252	△89,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,675	△4,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	158,174	455,303
現金及び現金同等物の期首残高	1,440,419	2,021,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,598,593	2,476,618



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

当社グループは、包装材関連事業を主な事業としており、包装材関連事業の売上高の合計及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高合計、営業利益の金額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,936,178	1,230,946	9,167,124	—	9,167,124
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,936,178	1,230,946	9,167,124	—	9,167,124
営業利益	1,133,870	29,844	1,163,714	△265,962	897,752

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,338,811	1,977,474	10,316,285	—	10,316,285
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,338,811	1,977,474	10,316,285	—	10,316,285
営業利益	806,732	107,689	914,422	△259,795	654,627

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域

アジア…中国、マレーシア

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で6,651千円減少しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高（千円）	1,230,946	1,230,946
II 連結売上高（千円）		9,167,124
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.4	13.4

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高（千円）	1,977,474	1,977,474
II 連結売上高（千円）		10,316,285
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.2	19.2

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する国又は地域

アジア…中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。